

すみよしじんじゃ (かもいせ)
住吉神社 (鴨居瀬)

神社番号 45 式内社 (名神大社)

周辺の神社 阿麻氏留神社 (44)

アクセス

美津島町小船越から国道382号線を北上し、分岐を東(右)鴨居瀬方向に進み、住吉大橋手前で右に斜面を下った海辺に鎮座。



周辺の雰囲気・環境など

対馬市美津島町鴨居瀬は、対馬海峡東水道に突き出した半島に位置する集落で、古い時代から大陸航路の重要な港として知られていました。

住吉神社前の海には、美しいサンゴ(ソフトコーラルの仲間)が生育し、名所「紫の瀬戸」として知られています。

神社のプロフィール

拝殿前の鳥居は海に面し、この地が航海の拠点であったことを実感できます。また、近隣の赤島～住吉神社～小船越をめぐる、古代航路の雰囲気がよくわかります。

ツツノオ三神とともに祭られているウガヤフキアエズは豊玉姫の子で、紫の瀬戸の紫(サンゴ)は出産の血だと伝えられています。

すみよしじんじゃ (けち)
住吉神社 (鶏知)

神社番号 36 式内社 (名神大社)

境内社 和多都美神社 (式内社)

アクセス

美津島町鶏知(けち)で国道382号線から県道24号線に入り、400m進んで信号を右折すると鳥居・駐車場が見えてきます。



周辺の雰囲気・環境など

美津島町鶏知(けち。正字は「雞」)は近年、国道382号線沿いに大型スーパーやホームセンターが立ち並び、商業地として発展しています。

古くは神功皇后が、鶏が鳴いたことでこの地に集落があることを知った(鶏知)という由来を伝える集落です。

神社のプロフィール

現在、社殿は内陸にありますが、傍を流れる鶏知川は対馬海峡東水道に面する高浜に注ぎ、北は浅茅湾につながる海上交通の拠点でした。

住吉神社は本来、ツツノオ三神を祭るはずですが、ウガヤフキアエズや豊玉姫などの海神が祭られています。